

AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業
浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション
JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」

MEDICAL INNOVATION FORUM

メディカルイノベーションフォーラム

2015+

(plus)

平成27年 **12月3日** 木 **14:00～18:00** (情報交換会 18:15～20:00)
静岡新聞社・静岡放送 21世紀倶楽部 17F 静岡新聞ホール
静岡県浜松市中区旭町11-1 プレスタワー

主催:浜松医科大学

共催:静岡大学、豊橋技術科学大学、光産業創成大学院大学、静岡県、浜松市、浜松医工連携研究会(浜松商工会議所)

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

14:00～14:05

開会挨拶 (公財)浜松地域イノベーション推進機構 理事長 **岡部 比呂男**

来賓挨拶 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 産学連携部 医療機器研究課 調査役 **阪本 剛氏**

14:25～15:25

第一部 第1回齋藤メモリアルフォーラム

医工連携の功労者である「故 齋藤博永島医科器械(株)技術本部長」を偲んで

地域だけでなく日本の医工連携に多大な貢献をされ、昨年11月に他界された「永島医科器械(株)の故齋藤取締役技術本部長」の志を忘れないよう、昔の懐かしい写真等を交えその業績と教を偲びます。

浜松医科大学 学長特別補佐・産学官共同研究センター長・教授/はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 研究統括 **山本 清二**

休憩(10分間)

15:35～16:35

第二部 基調講演 ものづくり中小企業がチャレンジするこれからの医工連携

株式会社 クロスエフェクト 代表取締役 **竹田 正俊氏**

プロフィール

1973年京都市伏見区生まれ。1996年立命館大学卒業後、米国カリフォルニア州に留学。2000年クロスエフェクト創業。2001年株式会社クロスエフェクト法人設立に伴い代表取締役に就任。2006年京都試作ネット副代表理事、2011年京都試作ネット代表理事就任。2011年医療系臓器シミュレーター開発を主とした株式会社クロスメディカルを設立し、代表取締役に就任。2013年には第5回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞を受賞。その他、京都学園大学理事、公益財団法人京都産業21理事なども務め現在に至る。



休憩(10分間)

16:45～17:50

第三部 パネルディスカッション

「全ては患者さんのために」をメインテーマに、患者さんのための医工連携・技術開発とは何かを産学官の関係者でパネルディスカッションを行います。

■パネリスト

- 光産業創成大学院大学 光医療・健康分野 教授 **江田 英雄**
- 静岡大学 電子工学研究所 大学院情報学研究科 教授 **青木 徹**
- 豊橋技術科学大学 研究推進アドミニストレーションセンター
特定准教授(URA) **土谷 徹**
- 浜松商工会議所 浜松医工連携研究会 幹事 **橋本 秀比呂**
- (公財)静岡県産業振興財団 ファルマバレーセンター 所長 **植田 勝智氏**
- (公財)浜松地域イノベーション推進機構 地域連携コーディネーター **荻生 久夫**
- 株式会社 クロスエフェクト 代表取締役 **竹田 正俊氏**
- 浜松医科大学 学長特別補佐・産学官共同研究センター長・教授/
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 研究統括 **山本 清二**

■モデレーター

浜松医科大学 学長特別補佐・産学官共同研究センター長・教授/
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 研究統括 **山本 清二**

17:55～18:00

閉会挨拶 光産業創成大学院大学 学長 **加藤 義章**

18:15～20:00

情報交換会 (会場: 静岡新聞社・静岡放送21世紀倶楽部 7F) 【参加会費 4,000円/1名】





開催趣旨

メディカルイノベーションフォーラムは、浜松・東三河地域を中心とした医療分野の製品・技術開発の推進を目的として開催され、今回で第9回目を迎えます。

本地域は、浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション(文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム)、文部科学省革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)に採択され、産学官が一丸となって積極的に光・電子技術を基盤とした新産業創出を進めているところです。2010年度からは「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」(JST地域産学官共同研究拠点整備事業)が設置され、医工連携活動を活発に展開してきました。加えて、2015年度は浜松医科大学が国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の国産医療機器創出促進基盤整備等事業の実施機関として引き続き事業を実施しており、地域内外の医療機器企業の開発を担う人材の育成、そして新たな医療機器開発に関する医工連携活動の展開が期待されています。

今回のメディカルイノベーションフォーラムにおきましても、医工連携活動の状況や課題を医療機器の開発に携わる多くの方々に知っていただくとともに、医療機器開発に関する取り組み、課題等について議論いたします。

医療機器の研究開発・技術開発・製品開発・事業化などに関心をお持ちの多くの方のご参加をお待ちしております。

国産医療機器創出促進基盤整備等事業とは？

医療ニーズを満たす医療機器の実用化が医療の発展に寄与することから、医療機関と医療機器企業との連携を効果的に進める必要があり、その鍵を握るのは医療機器の研究開発を担う人材という観点に立って、医療機関において医療機器の開発人材を育成することを通じて、医療機器開発を担う医療機関の体制を整備し、国内外の医療ニーズを満たす医療機器開発の推進を図るための事業です。

浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーションとは？

産学官金が横の関係で結び付く産業構造を構築し、最先端の光・電子技術を基盤として、「輸送機器用次世代技術産業」「新農業」「健康医療産業」「光エネルギー産業」の4分野で新産業創出を目指す地域イノベーション戦略支援プログラムのひとつです。

「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」とは？

浜松東三河ライフフォトニクスイノベーションが創出を目指す4つの新産業の1つである「健康医療産業」を担い、地域の特徴を活かした技術力と産業開発力と医学シーズ・医療ニーズとの融合を促進することにより、新技術の事業化を推進する拠点です。

フォーラムお問い合わせ先

国立大学法人浜松医科大学 産学官共同研究センター TEL.053-435-2681 URL:<http://www.hama-med.ac.jp/>

AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業

浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション

JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」

メディカルイノベーションフォーラム2015+(plus) 参加申込書

参加費 無料(情報交換会 4,000円/1名)

申込要領 下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

申込期限 平成27年11月30日(月)

メディカルイノベーションフォーラム

参加申込書(国立大学法人浜松医科大学 産学官共同研究センター)

FAX 053-435-2179

E-mail chizai@hama-med.ac.jp

企業・団体名		TEL	-	-
		FAX	-	-
所在地	〒			
所属・役職				
氏名				
E-mail				
情報交換会	出席 ・ 欠席		出席 ・ 欠席	